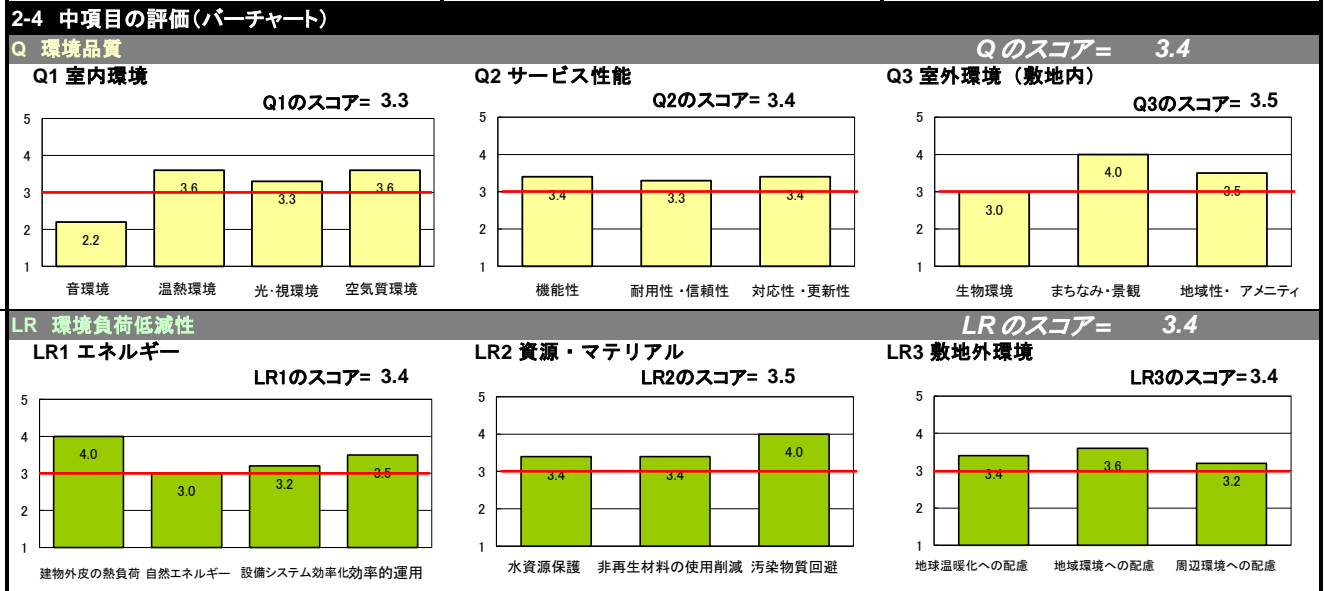
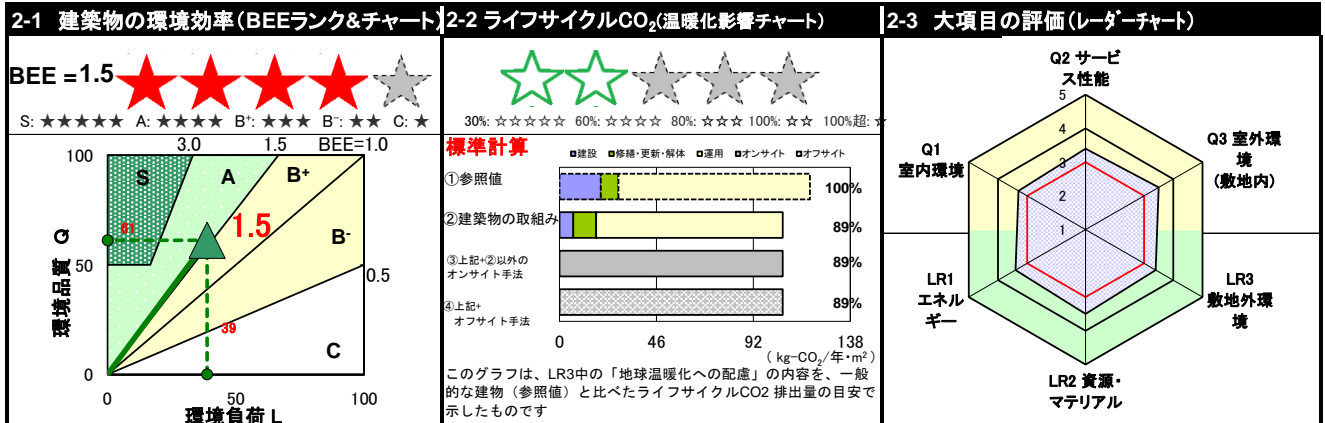


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リーフアタワー海老名B棟計画	階数	地上31F
建設地	神奈川県海老名市めぐみ町512番12	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,057 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2018年5月25日
敷地面積	3,495 m ²	作成者	三井住友建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	1,284 m ²	確認日	2018年5月25日
延床面積	29,002 m ²	確認者	三井住友建設株式会社一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
住棟は街並みに調和する色調とし、メインエントランス周辺にはシンボルツリーを配置するなど、緑豊かな空間を演出している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
省エネルギー対策等級 等級4相当を取得予定 F★★★★を70%以上使用	免震装置を導入している	メインエントランス周辺にはシンボルツリーを配置
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギー対策等級 等級4相当を取得予定 ガスと給湯の使用量が確認できるリモコンを採用	ODP=0、GWP=1の発砲剤を使用	レンタサイクルの導入

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される